

# 2017年度 定期演奏会特集

吹奏楽団 第46回定期演奏会 平成30年2月3日 和光市サンアゼリア大ホール  
一粒で3度おいしい吹奏楽団。フラッグ演技の華やかさ、マーチングの躍動感、シンフォニックの楽の音に感嘆。



混声合唱団 第56定期演奏会 平成30年2月10日 川口総合文化センターリリア音楽ホール



混声合唱団は50年以上の伝統ある部で、OBの中にはプロの指揮者の方もいます。今回はそのOBの方の指揮でも何曲か歌っています。毎回校歌から始まる大東大生らしい男女少教精鋭による合唱です。歌は文句なく上手く、楽しく聴かせてもらいました。

管弦楽団 第26定期演奏会 平成30年3月10日 川越市民会館内やまぶき会館中ホール



管弦楽団はまさしく音を楽しむ集団で、聞きに来て良かったな一と思わせてくれます。だから青桐会を卒業しても楽団のファンになった方が定演を聞きに来ています。そんな方たちに会うのも、定演の楽しみの一つです。



### ＜編集後記＞

青桐会の一員として、見たことなかった舞台、聞いたことなかった音楽にふれて魅了されるのは、けっこう刺激的で、なかなか味なものです。あなたも、私たちといっしょに青桐会埼玉支部の活動を楽しませんか？

※万葉集の訓読みには語説ありますが、今回は「万葉集全講」武田祐吉著（明治書院）20版の読みに従いました。

発行責任者：大東文化大学青桐会埼玉支部 支部長 井上 輝彦 (aogiri\_hensyu@yahoo.co.jp)

大東文化大学青桐会

2018年 7月発行

# 埼玉県支部便り

NO.33

埼玉県支部会報

## ＜行事報告＞

### 箱根研修 ～箱根駅伝の道を行く～

2018年2月18日(日)

バスは川越と武蔵浦和で参加者をピックアップして、一路箱根へ。箱根駅伝（東京箱根間往復大学駅伝競走）の往路スタート地点から、中継地点や、埼玉県支部の応援場所等にさしかかるたびに逐次車窓案内を受けながら進みました。



往路の車内研修は学歌と学生歌の紹介でした。学歌は全学応援団の壮行会等で親しんでいますが、学生歌は耳新しく感じた人も多かったと思います。



今回のバスツアー記念品として青桐会埼玉県支部会員の方へ資料DVDを配布しました。



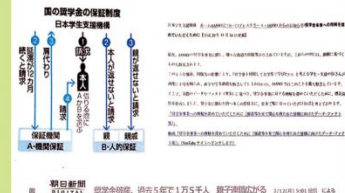
往路のゴール地点直近「箱根駅伝ミュージアム」ここでは箱根駅伝を見続けて60年のガイドの方

が我々を担当。大東文化の名を聞いた途端、箱根駅伝の歴史解説を『箱根駅伝大東文化大学中心のバージョン』にして話してくださいました。

### ～復路車内研修「奨学金問題を考える」～

「奨学金問題を考える」というテーマで車内講習会を行いました。大東文化大学の学生の4割が日本学生支援機構の奨学金を借りていて、世間では連帯保証人や保証人の連鎖破産が話題になっています。日本育英会時代から、驚くべき変貌を遂げた日本学生支援機構奨学金まずは現在の奨学金制度を知ることから、賢い利用法を考えて行こうとする、第一歩の講習でした。

### 奨学金問題を考える



配布資料車内研修用「奨学金問題を考える」



# 2017年度 展覧会特集 ～ 渾身の作品と作者たち ～

## 美術部 桐美展

日程：平成30年2月6日～2月10日  
東京芸術劇場アトリエEAST (BF)



落陽/B3/アクリル/山本直太



呑処/A2/パイン/豊川純平



チーブル/F25/アクリル/稲野彰香



調弦/F50/油彩/萩野克将



ウシ/F50/アクリル/高野拓海

## 美術部 卒展

日程：平成30年2月9日～2月16日  
大東文化会館



柴犬/A4/色鉛筆/高野拓海



会場のホワイトボードに書き込まれたのは、卒業に寄せる思いの丈。青春ですね。



合制作絵巻/高野拓海 豊川純平 豊川拓実 稲野彰香 山本直太

## 書道部 第61回校外展

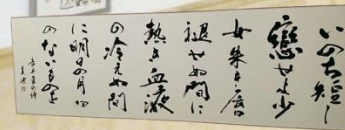
平成30年1月31日～2月4日  
東京芸術劇場

奥行きのある広い会場で、沢山の作品が展示されていました

第94代幹事長 光瀬千騎さんの作品。



柿本人麻呂の歌  
「巻向之 検原丹立流 春霞 蓄之思者名横米八方」  
を書いています。訓読は  
「巻向の検原に立てる春霞おほし思はばなづみ来  
めやも」です。



二年 遠藤美果さん 「ゴンドラの唄」



第95代幹事長  
長谷川翔一さん



梅林由葵乃さん  
改組新日展第五科書  
部門2年連続入選

## 書道学科 卒業制作展

平成30年2月20日～27日  
東京都美術館

経文、詩文、歌謡曲の歌詞までも、表現する水莖。  
文字文化と真摯に向き合った四年間の成果が、ここにあります。



# 2017年度 舞台特集

げに一刻も千金の舞台。  
いざやいざや見に行かん。

## 劇団虚構 学外公演

平成30年2月16日～18日  
スタジオ空間

上演作品は「ある日僕らは夢の中で出会う」。観客を騙す要素のある虚々実々の舞台でしたが、騙されるのもいいものでした。そして観劇のヒフォーアフターでは、「オリジナルティ」という言葉が、まるで違った響きで聞こえました。笑って、そして考えさせられる舞台でした。ところで彼ら、写真を撮ると言っただけで、いきなりスタッフを抱えあげました。胸に「演出」「衣装」「舞台美術」の名札を付けた彼は、演出の肉厚ぶりにも増して仲間の信頼が厚い様子です。



## 落語研究会 三月公演

8組の公演。始まりは出演者、観客共に困っていましたが、だんだん緊張が解け、後半は笑いが増えました。落語研究会という看板ですが、落語はなくてコントと漫才が主戦場のようなです。～では「今日の出演者」とか「離陸後の飛行機」とときます。そのころは、「期待(機体)上昇中」...おあとがよろしいようで...

## 「お笑いライブ」

2018年3月11日  
大東文化会館

